

## 様式 7 (第 3 関係)

## 青森県が実施した 田名部川広域河川改修事業 に関するアンケート調査

青森県県土整備部河川砂防課

## 【アンケートの目的】

このアンケートは、青森県が工事を行い、平成 29 年度に完了した田名部川広域河川改修事業（田名部川、小川の河川改修工事）について、完成後の状況や効果をお聞きして、今後の同じような公共事業の計画や調査に役立てるために行うものです。

お忙しいところ恐縮ですが、以下のアンケートにご回答いただき、令和 4 年〇月〇日（〇）までに同封いたしました返信用封筒でご返送いただきますようご協力をお願いいたします。

なお、お答えいただいた内容につきましては、他の目的には使用いたしません。

## 【連絡先】

青森県 県土整備部 河川砂防課 担当：野呂、後藤  
 (〒030-8570 青森県青森市長島一丁目 1 番 1 号)

TEL： 017-722-1111(内線 6735)

FAX： 017-734-8191

E-mail： kasensabo@pref.aomori.lg.jp

## 【アンケート配布・回収者】

〇〇株式会社 △部 □課 担当：◎◎  
 (〒〇〇〇 青森県〇〇市△△□□)

TEL：

FAX：

E-mail：

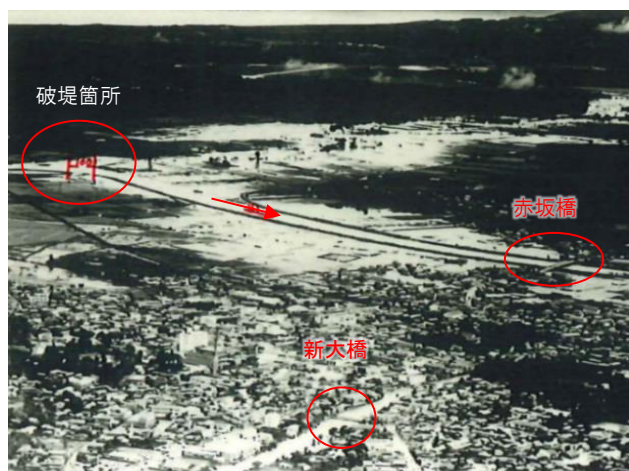
## 【事業概要】

## ■事業目的：

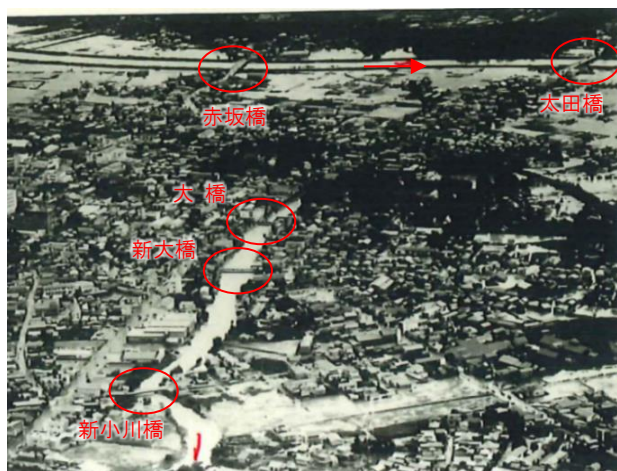
田名部川は、現況流下能力が低いため、昭和 30 年 10 月、昭和 48 年 9 月、昭和 56 年 8 月、平成 6 年 9 月と度重なる洪水により、むつ市を中心とした流域に大きな被害をもたらしました。特に昭和 48 年洪水では、浸水家屋が 3 千戸以上にも及び、流域全体の被害は甚大なものでした。

このことから、県では、戦後最大の被害が発生した昭和 48 年 9 月洪水が再来したとしても、田名部川沿川での洪水による浸水被害の解消・軽減を図るため、概ね 50 年に 1 回程度発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標に、河川の拡幅や放水路（河川の途中から分岐して新しい川を開削し、直接海やほかの河川に放流する水路）の整備を行うなどの河川改修を実施しました。

【写真1】1973(S48)年 9 月の洪水右岸で破堤し市内が冠水



【写真2】1973(S48)年 9 月の洪水 市街地の冠水状況



■事業内容：

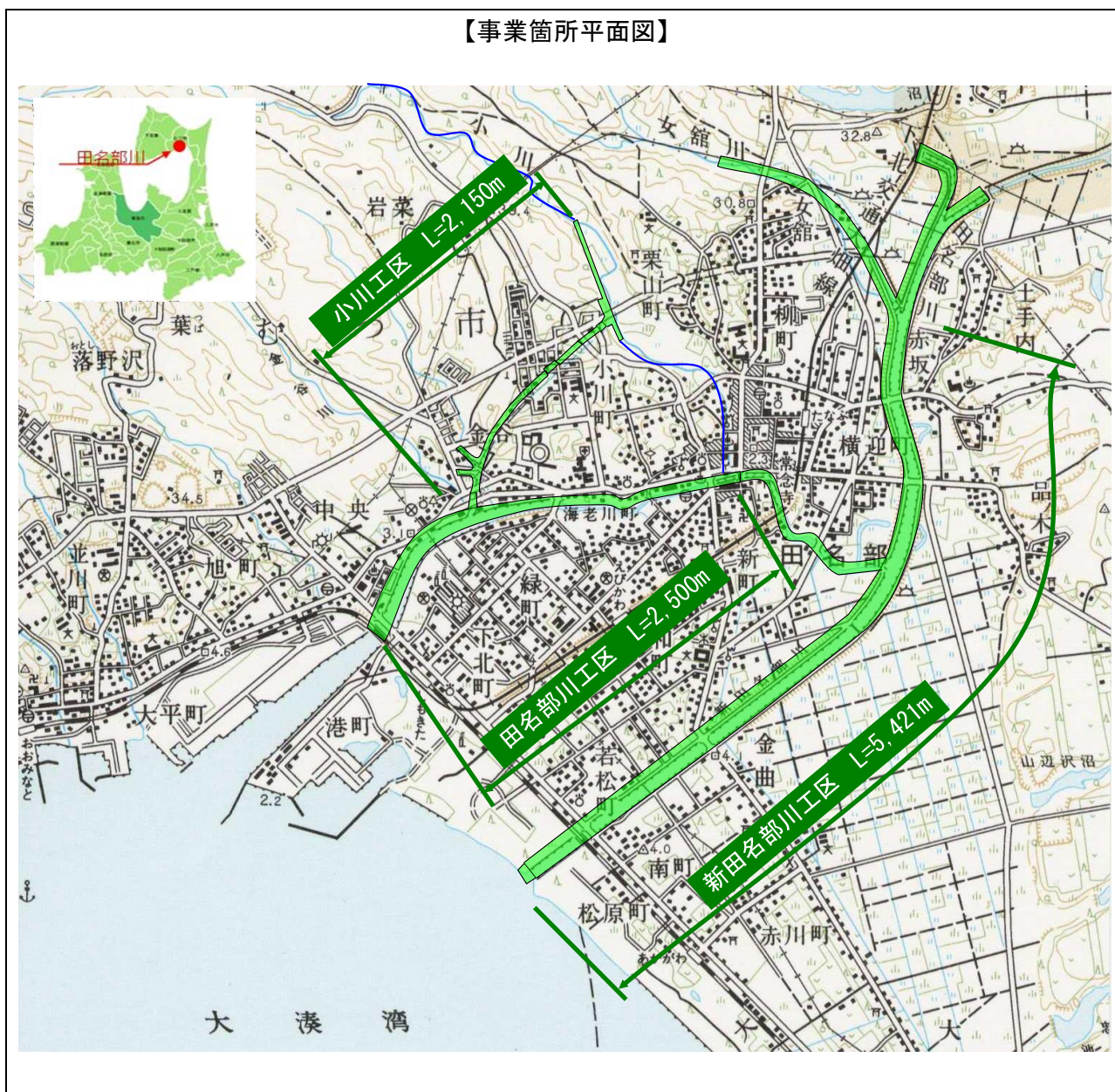
全体改修延長  $L = 10,071\text{m}$

新田名部川工区	$L = 5,421\text{m}$
田名部川工区	$L = 2,500\text{m}$
小川工区	$L = 2,150\text{m}$

- ①堤防工  $L = 19,715\text{m}$
- ②掘削工  $L = 9,686\text{m}$
- ③護岸工  $L = 16,833\text{m}$
- ④放水路トンネル（小川）  $L = 675\text{m}$  等

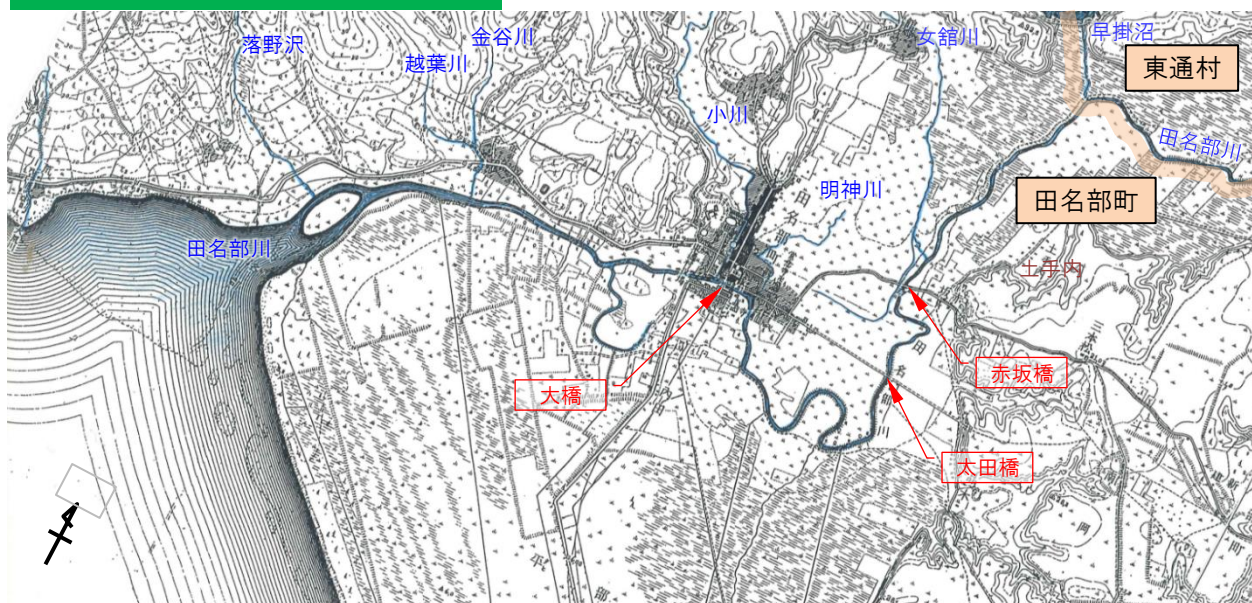
- 事業費： 約144億円
- 工期： 昭和31年度～平成29年度
- 施設管理者： 青森県（下北地域県民局地域整備部）

【事業箇所平面図】



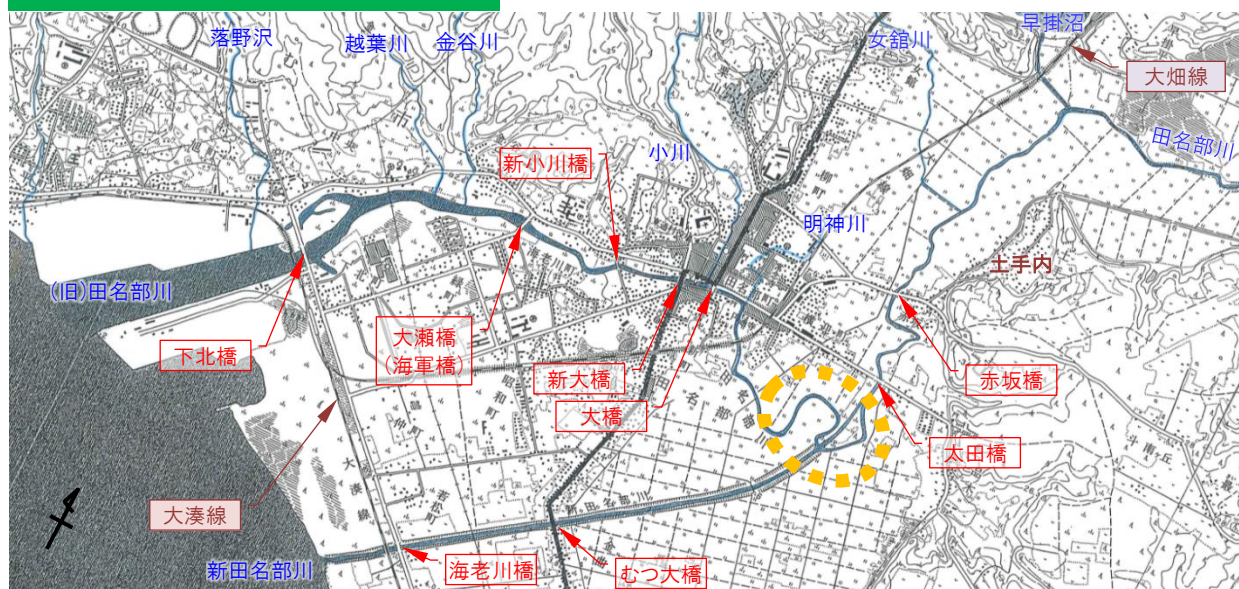
## 【改修状況の変遷】

## 大正6年 河川改修前の蛇行流路



田名部川の流路は、東方側の東通村の方から流れ来て、早掛沼からの水路の流れを受け、蛇行しながら南流して女館川を合流させ、赤坂橋と太田橋を下ってから田名部町の市街地の東側で大きくうねって西に向きを変えている。その後、町の繁華街の中で明神川と小川との流れを合わせて貫流し、さらに下流途中で金谷川（支川に越葉川（こいつばがわ））と落野沢からの流れを受け入れて大湊湾（陸奥湾）に注いでいる。

## 昭和47年 新田名部川通水後



昭和30年の洪水被害を契機に始められた中小河川改修事業で放水路が計画され、その放水路である新田名部川が開削通水されて大湊湾に注いでいる。

令和元年 小川放水路 通水後



平成18年に、田名部川の支川小川から市街地部を迂回させ、洪水を直接田名部川下流部へ流下させる「小川放水路」が完成し、抜本的な治水対策が概ね完了した。残る田名部川本川の河幅を広げる河道拡幅工事を平成29年まで実施し、事業は完了した。

【写真 3】 むつ市街地を流れ下る田名部川と新田名部川(R1 空撮)



※該当する番号に○をお付けください。

■問 1 【年齢層】 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。

- ① 20 歳未満    ② 20 歳代    ③ 30 歳代    ④ 40 歳代    ⑤ 50 歳代  
⑥ 60 歳代    ⑦ 70 歳以上

■問 2 【お住まい】 あなたがお住まいの町名をご記入ください。(例：海老川町、中央一丁目など)

■問 3 【居住時期】 今の場所にお住まいになられた時期をお教えてください。

- ① 昭和 30 年以前 (事業開始前)    ② 昭和 31 年～昭和 52 年 (新田名部川完成まで)  
③ 昭和 53 年～平成 18 年 (小川放水路完成まで)    ④ 平成 19 年～平成 29 年 (事業完了まで)  
⑤ 平成 30 年以降 (事業完了以降)

■問 4 【被災履歴】

あなたは田名部川や小川で過去に発生した洪水により、浸水被害にあったり、浸水被害が発生している状況を見たりしたことがありますか。

- ① 家屋の浸水被害にあった    ② 家屋は無事だったが、土地等の浸水被害にあった  
③ 浸水被害にはあわなかったが、浸水被害が発生している状況を見た  
④ 浸水被害にはあわなかったし、見たこともない

■問 5 【認知度】 今回のアンケートの事業をご存知ですか。

- ① 事業が行われたことを知っている  
② 事業が行われたことは知らないが、田名部川や小川なら知っている。  
③ 事業が行われたことも、田名部川や小川のこと知らない。

※③を選択された方は、以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

■問 6 【必要度】 地域にとって田名部川や小川の改修事業は必要であったと思いますか。

- ① 必要であった    ② おおむね必要であった    ③ どちらとも言えない (わからない)  
④ あまり必要ではなかった    ⑤ 必要ではなかった

(差し支えなければ、その理由をお聞かせください。)

## ■問7【達成度】

田名部川や小川の改修事業が完了したことにより、洪水による浸水被害が無くなったり軽減された、もしくは地域の洪水に対する安全度が高まった（事業目的が達成された）と思いますか。

- ① 達成された                      ② おおむね達成された                      ③ どちらとも言えない（わからない）  
④ あまり達成されていない                      ⑤ 達成されていない

（差し支えなければ、その理由をお聞かせください。）

## ■問8【管理状況】

田名部川や小川は青森県が管理しておりますが、護岸が壊れた場合に補修したり、洪水の支障となる堆積土砂を撤去したりするなど、河川の管理は適切に行われていると思いますか。

- ① 適切                                      ② おおむね適切                                      ③ どちらとも言えない（わからない）  
④ あまり適切でない                      ⑤ 適切でない

（差し支えなければ、その理由をお聞かせください。）

## ■問9【環境変化】

現在の河川内やその周辺での動植物の生息状況や景観等についてどう思いますか。

- ① 良い                                      ② やや良い                                      ③ どちらとも言えない（わからない）  
④ やや悪い                                      ⑤ 悪い

（差し支えなければ、その理由をお聞かせください。）

## ■問10【改善点】

この事業で行った工事や整備した施設について、改善した方がよいと思う点がありますか。

- ① 改善点がある                      ② 改善点はない                      ③ どちらとも言えない（わからない）

（差し支えなければ、その内容をお聞かせください。）

■問11【その他効果】

この事業を行ったことが地域活性化に結びついたなど、洪水による浸水被害の解消以外に効果があったと思いますか。

① 効果があった      ② 効果はなかった      ③ どちらとも言えない（わからない）

（差し支えなければ、その内容をお聞かせください。）

■問12【その他意見（アンケート対象事業）】

この事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。